

静岡県東部総合美容専門学校の目的・目標・三つのポリシーなど

file55-0101-99

- I 経営の目的 「学生の幸福を追求し、挑戦する心を育てる」
- II 建学の精神 確かな技術・創造の喜び・心のふれあい
- III 教育目標 「豊かな教養、確かな技術、社会への貢献」
- IV 重点目標
 - (1) 学校改善計画を作成し、改善の方向性が見える化し、校内で共有する
 - (2) 授業改善に取り組み、授業の質を向上する
 - (3) 外部評価システムの考えを導入し、客観的な視点を取り入れた学校改革に取り組む
- V 生活目標
 - ① 整理・整頓・清潔
 - ② 笑顔で挨拶、ありがとう
- VI 東美「三つのポリシー」
 - 1 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

本校美容学科は、「学んだことを活かし、いかに社会と関わり、より幸福な人生を送るか」を目指し、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力や人間性など情意・態度等に関わるものを、総合的に育成します。

 - (1) 美容に関する知識の習得と技能の習熟を図り、より質の高いものにしようとする粘り強さと挑戦する心の育成。
 - (2) 学んだ知識・技能、思考力・判断力・表現力を活用し、更に新しい力を開発しようとする創造性の育成。
 - (3) 美容に関する技術、文化、最新情報を知ろうとし、不易と流行を見極めようとする態度を育成する。
 - (4) お客様のために安全な方法で施術しようとする、誠実な態度の育成。

2 カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育目標「豊かな教養、確かな技術、社会への貢献」に基づき、人間性の育成に向けて、東美キャリア教育プログラムで「生き方・働き方」を考える時間を設け、接遇マナーで学習したことを学校生活のルールとして活かしていくことをカリキュラムの底辺として意識したい。その上で次の4点につき具体化したい。

- (1) 国家試験課題の習得と習熟を教育課程の柱とする。
- (2) 学んだ知識・技能、思考力・判断力・表現力を、資格の取得に結びつけ、学修成果の見える化をする。
- (3) 新しい美容の課題に積極的に挑戦するよう、常時教育課程の工夫をする。
- (4) 必修科目と学校選択科目に分け、学校選択科目では、時代に対応した教育内容とするために、科目内でコース選択をさせ、内容を工夫する。

3 アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づき、将来美容の専門知識・技術を活かし、美容業界で活躍したいという強い意志と、社会に貢献できる知識や感性、技術を積極的に身につけようと努力できる人物で、美容師国家試験に合格するための基礎学力を身に付けている人物。